

ニュースリリース

2022 年 7 月 4 日

日鉄エンジニアリング株式会社

PT. ALEXINDO 社向け溶融亜鉛めっきラインの竣工について

日鉄エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：石俣行人、本社：東京都品川区、以下「当社」）は、インドネシアの PT. ALEXINDO 社（CEO：Baharja Halim、本社：Bekasi Utara, Indonesia）より受注した溶融亜鉛めっきライン（Continuous Galvanizing Line：CGL、以下「本設備」）をこのたび竣工し、引渡しました。

本設備は、耐候性・耐久性に優れた建材用 55%AL-Zn 溶融亜鉛めっき鋼板を製造する設備であり、当社がインドネシアに納入した CGL では 3 基目となります。プロジェクト実行にあたっては、当社と当社グループ会社である日鉄設備工程（上海）有限公司が一体となり、試運転調整まで一貫してトラブル無く円滑に完了しました。

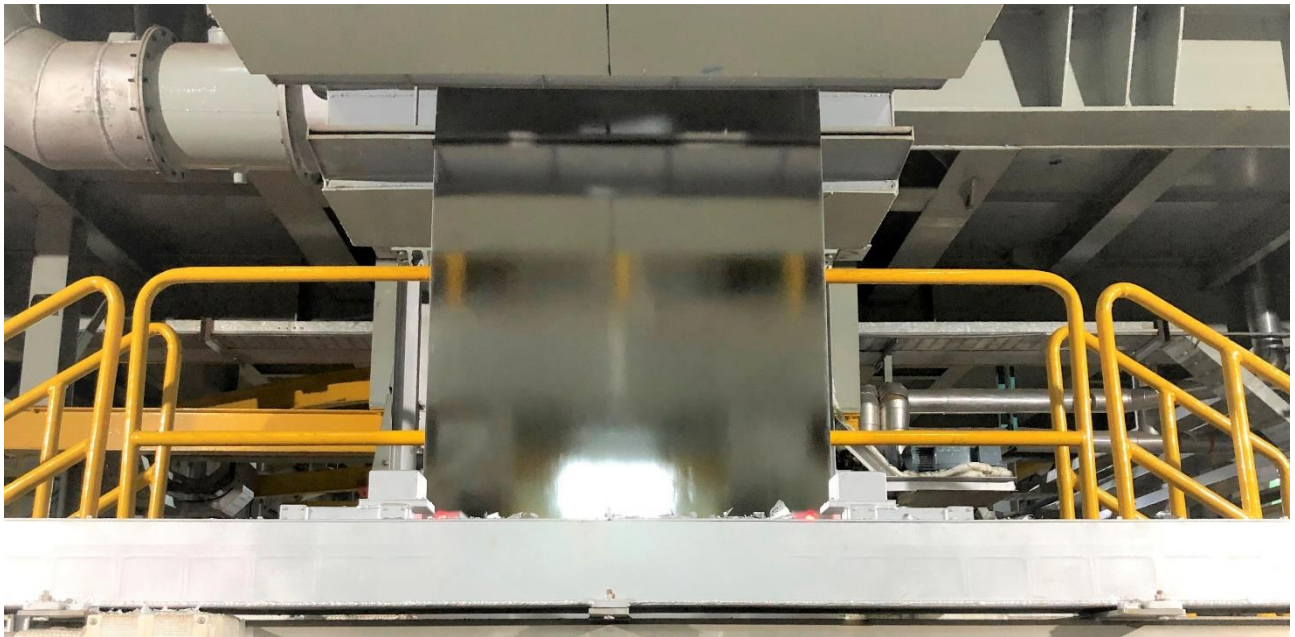
また本設備は、当社独自に開発した最新型ワイピング装置 [NSblade®](#)^{※1} を備えており、低速厚目付から高速薄目付まで、広範囲にわたり高精度な目付量の制御が可能です。NSblade®は、高速通板時に発生しやすくなるスプラッシュ^{※2}とエッジオーバーコート^{※3}を効果的に抑制することができ、溶融亜鉛めっき鋼板の品質改善に貢献します。NSblade®は、中国・ベトナムをはじめ、国内外で 8 件の納入実績があり、お客様より高い評価を頂いております。

日本製鉄グループのエンジニアリング会社として、鋼板処理分野の設備技術と開発力に強みを持つ当社は、国内外で CGL の実績を積み重ねております。これからも引き続き、高付加価値を生む技術と競争力のある価格を提供することで、鉄鋼業界のさらなる発展に貢献してまいります。

※1 鋼板の表面品質改善とランニングコスト削減を目的とし、当社で開発した溶融亜鉛めっき用ワイピング装置。

※2 ワイピング時に亜鉛が鋼板表面に飛散する現象。

※3 鋼板の両端と中心部のメッキ厚が不均一の現象。



【溶融亜鉛めっきライン（CGL）に設置されている NSblade®】

【お問い合わせ先】

サステナビリティ・広報部 広報室：03-6665-2366

URL: <https://www.eng.nipponsteel.com/contact/index.html>

以 上